



わかみどり

<http://hirabayashi-e.murakami.ed.jp>



百人一首に親しむ

私の実家は瀬波です。

冬休み前になると、友達がもごもごと何か唱えていたことを覚えています。そして、「〇〇は?」「△△~!」と何か呪文のような言葉を言い合っていたことも覚えています。それが百人一首なんだと分かったのは、しばらくしてからでした。

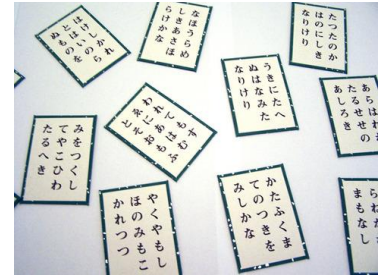
瀬波地区では百人一首大会があり、地域の人たちが熱心に子どもたちを指導していたようです。私の町内は参加することはなかったので縁遠く、いつか百人一首ができればいいなと思っていました。

教員となって一年目の冬、3年生の担任だった私は、念願だった百人一首をクラスで始めます。詩歌の暗記とカルタ活動を学級文化づくりの土台にしていたので、カルタ（名言カルタや伝記カルタなど）から百人一首へはスムーズに流れました。ちょうど五色百人一首が出始めた頃で、教育雑誌に掲載されていた読み札・取り札をコピーし、色画用紙に貼り付けてクラスで親しみました。製品化されたのは翌年だったのでしょうか。

この五色百人一首は、百人一首を20枚ずつ5色に色分けしたもので、現在では、百人一首の入門や学校教育などで活用されています。五色百人一首に特化した大会も全国で行われるほどです。1試合を20枚で行うので1試合が短時間ですむよさがあります。

教室ではこのように行います。机を向かい合わせ、対面の相手と対戦です。お互いに5枚ずつ一列に並べ、裏面を見ながら覚えます。自分の札だけではなく、相手の札もめくって覚えます。「じゃ、始めます。」いよいよ始まります。「きりぎりす…」「はいっ!」勢いよく札をとります。自分の5枚がなくなると勝利です。相手の札をとった場合は、自分の札から相手に1枚渡します。お手つきは一回休みです。試合に勝つと、隣である上位の席へ移動します。負けると隣の下位の席へ移動です。子どもたちは、勝ちたいために自然と札を覚えます。自ら「勝つためのコツは覚えることだ」と気付きます。

さて、百人一首に親しむよさは何でしょうか。伝統文化に触れる、三十一文字の音の調べに慣れる、知識や教養が深まる、等いろいろあると思いますが、和歌を百首覚えるよさもあります。すべての学級で百人一首に親しみます。続報はまた後日お伝えします。



鉄棒を設置しました

11月の中旬から体育館に鉄棒を設置しました。寒い時期に冷たい鉄棒は触りたくないですね。来年度は指導計画を見直し、暖かい時期に学習できるようにします。

体育では、できた喜びをすべての子どもに味わわせたいと考えます。「逆上がり」、みんなにできるようになってほしいです。それにはまず、鉄棒に触れることから。私も休み時間に体育館でサポートします。

(校長 南波 裕)

新潟日報「おおきくなったら」

12月6日に掲載予定の新潟日報「おおきくなったら」で12名の児童の作文が紹介されます。ぜひ、ご一読ください。

新潟日報「おおきくなったら」

1年	阿部 優晴さん	金子 璃子さん	2年	佐藤 悠稀さん	本間 笑莉さん
3年	齋藤 優和さん	佐藤 一冴さん	4年	井上 蒼 さん	佐藤 奏澄さん
5年	阿部ひなのさん	佐藤 音太さん	6年	川崎 寧々さん	田村 葵 さん

平小フェスティバル

縦割り班で、子どもたちが、それぞれの役割を果たして協力し合うことにより社会性を養うことをねらい、11月18日に「平小フェスティバル」を行いました。10月中から、6年生のリードの中、子どもたちは、全校のみんなを楽しませるお店を考え、準備を進めてきました。当日は、各縦割り班が2組に分かれ、前半と後半でお店の運営を交代し、運営しない方の子どもたちが他の班のお店を回りました。一生懸命な姿、楽しそうな笑顔が溢れる行事となりました。

心配だった感染症もなく、今日も元気に活動する平小っ子です。



響け美声 カラオケ



出店の王道 射的



箱の中身は何だろう？

12月

行事予定

1日(木) 全校4・5時間 SSE集会	16日(金) 全校スキルタイム
2日(金) 学習参観・引き渡し訓練	21日(水) 4時間授業 給食最終日
2年学年行事	地域子ども会
6日(火) かごやま班遊び	22日(木) 3時間授業
7日(水) 期末大清掃①	23日(金) 第2学期終業式
8日(木) フッ化物洗口 お話を聞く会	1～3年 2限放課 10:15
クラブ最終日	4～6年 3限放課 11:00
9日(金) 期末大清掃②	24日(土)～1月5日(木) 冬季休業
12日(月) 個別懇談会4時間授業(～15日)	29日(木)～1月3日(火) 閉庁日
15日(木) フッ化物洗口	1月6日(金) 第3学期始業式

